

Power Systems

HMC を使用した *BMC* ベースのシステムの
管理

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[9 ページの『特記事項』](#)に記載されている情報をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。本体機器提供後に、追加で電源コード・セットが必要となった場合は、補修用の取扱いとなります。

本書は、IBM ハードウェア管理コンソールのバージョン 9 リリース 2 保守レベル 950 および新版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックslashと表示されたり、バックslashが円記号と表示されたりする場合があります。

原典：

Power Systems
Managing BMC-based systems by using
the HMC

発行：

日本アイ・ビー・エム株式会社

担当：

トランスレーション・サービス・センター

© Copyright International Business Machines Corporation 2018, 2020.

目次

HMC を使用した OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムの管理.....	1
HMC を使用した BMC ベースのシステムの管理の新機能.....	1
HMC で PowerSC MFA が構成されている場合のハードウェア管理コンソール (HMC) へのログオン.....	1
管理対象システムの追加	2
システム管理 (サーバー).....	2
操作.....	2
更新.....	5
アテンション LED.....	5
接続.....	6
特記事項.....	9
IBM Power Systems サーバーのアクセシビリティ機能.....	10
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項	11
プログラミング・インターフェース情報.....	12
商標.....	12
使用条件.....	12

HMC を使用した OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムの管理

ハードウェア管理コンソール (HMC) を使用して OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムを管理する方法について説明します。

このタスクについて

コンソールから実行するタスクと、管理対象システムのグラフィカル・ビューおよび簡易ナビゲーションを備えた Web ベースのユーザー・インターフェースを使用してベースボード管理コントローラー (BMC) をナビゲートする方法について説明します。

注: HMC が NIST モードで稼働しているときには、OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムを管理することはできません。

HMC を使用した BMC ベースのシステムの管理の新機能

このトピック・コレクションの前の更新以降に、HMC を使用した OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムの管理についての新規情報または大幅に変更された情報をお読みください。

2019 年 11 月

- 以下のトピックが追加されました。
 - [1 ページの『HMC で PowerSC MFA が構成されている場合のハードウェア管理コンソール \(HMC\) へのログオン』](#)

2018 年 8 月

- 以下のトピックが追加されました。
 - [1 ページの『HMC を使用した OpenBMC ベースのシステムおよび BMC ベースのシステムの管理』](#)

HMC で PowerSC MFA が構成されている場合のハードウェア管理コンソール (HMC) へのログオン

HMC で IBM PowerSC 多要素認証 (MFA) が構成されている場合に HMC にログインする方法について説明します。

HMC で IBM PowerSC MFA が有効になっていて、PowerSC MFA サーバーでユーザーが構成されている場合、最初にユーザー ID とセキュリティー管理者によって提供されているポリシー名を入力することで、HMC にログインすることができます。その後、追加の資格情報を求めるプロンプトが表示されます。

HMC のログイン・ページで「**ポリシー名**」をクリックすると、認証メカニズムはインバンド認証タイプに設定されます。例えば、使用するポリシーが Rivest-Shamir-Adleman (RSA) 認証方式に関連付けられている場合、RSA セキュア ID デバイスまたはアプリケーションから受け取ったセキュア ID パスコードを入力できます。次に、「**次へまたはサインイン**」をクリックして、HMC にログインします。

注:

- HMC で MFA が有効になっていない場合は、ユーザー ID とパスワードを使用して HMC にログインできます。
- セキュリティー管理者によって構成されている PowerSC MFA サーバーからキャッシュ・トークン資格情報 (CTC) コードを取得している場合は、「**パスワード**」フィールドに CTC コードを入力します。

管理対象システムの追加

管理対象のベースボード管理コントローラー (BMC) システムをハードウェア管理コンソール (HMC) に追加する方法について説明します。

1つ以上の管理対象 BMC システムを HMC に追加するには、以下のステップを実行します。

1. HMC ダッシュボードから、「**システムの接続**」をクリックします。
2. 「**管理対象システムの追加**」ウィンドウから、以下のフィールドに入力することで BMC システムを追加できます。

- **IP アドレス/ホスト名**
- **ユーザー名 (BMC システム)**

注:

- モデル 8335-GTH および 8335-GTX の場合、デフォルト・ユーザー名は admin です。
- モデル 9006-12P および 9006-22P の場合、デフォルト・ユーザー名は ADMIN です。

- **パスワード**

あるいは、IP アドレスの範囲を指定して「**OK**」をクリックして、検出されたシステムのリストを表示することもできます。検出されたシステムを 1つ以上選択して、HMC に追加することができます。

注: ディスカバリー・プロセスは、完了するまでに長時間かかる場合があります。

3. 「**OK**」をクリックして、管理対象システムを HMC に追加します。

このタスクについて詳細な情報が必要な場合は、オンライン・ヘルプを使用してください。

システム管理 (サーバー)

「システム管理」には、サーバーを管理するためのタスクが表示されます。これらのタスクを使用して、サーバーのセットアップ、構成、状況の表示、トラブルシューティング、およびソリューションの適用を行います。

これらのタスクは、管理対象システムが選択されたときにリストされます。メニュー・ポッドにリストされるタスクは、作業域で選択を行うと変わります。

操作

「操作」には、管理対象システムを操作するためのタスクが含まれています。

電源オフ

管理対象システムをシャットダウンします。

以下のオプションから選択してください。

通常の電源オフ

「通常の電源オフ」モードは、制御された方法でシステムの操作をシャットダウンします。シャットダウンの間、アクティブなジョブで実行されているプログラムは、クリーンアップ (ジョブ終了処理) を実行できます。

電源オン

「電源オン」タスクを使用して、管理対象システムを開始します。

以下のオプションから選択して、管理対象システムを電源オンします。

通常 (Normal): このオプションは、HMC が区画開始ポリシーの現行設定を使用して管理対象システムの電源オン方法を決定することを指定する場合に選択します。デフォルト設定は、以下の値に設定されます。

- **常に自動開始 (Auto-Start Always):** このオプションは、管理対象システムの電源がオンになると HMC が自動的に論理区画を電源オンすることを指定します。管理対象システムの電源オンがユーザー・アクション

ョンの結果である場合、HMC は自動始動用に構成されたすべての区画を開始します。管理対象システムの電源が自動リカバリー・プロセスの結果オンになった場合、HMC は、システムが電源オフされたときに実行中だった論理区画のみを開始します。このオプションは常に選択可能です。

操作のスケジュール

オペレーターの介入なしで、管理対象システム上で実行する特定の操作のスケジュールを作成します。

システム操作の自動処理、遅延処理、または反復処理が必要な状況では、スケジュール操作が便利です。スケジュール操作は、指定した時刻に、オペレーターが操作の実行に携わることなく開始します。スケジュールには、1回の操作または複数回の繰り返しを設定できます。

例えば、管理対象システムの電源オン/オフ操作をスケジュールできます。

「スケジュール操作」タスクは、各操作について次の情報を表示します。

- 操作の対象になるプロセッサ
- スケジュールされている日付
- スケジュールされている時刻
- 操作
- 残されている繰り返し回数

「スケジュール操作」ウィンドウでは、以下のタスクを実行できます。

- 操作を後で実行するようスケジュールします。
- 操作を定期的な間隔で繰り返し実行するように定義します。
- スケジュール操作を削除します。
- 現在スケジュールされている操作の詳細を表示します。
- 指定した時刻範囲内にスケジュールされている操作を表示します。
- スケジュールされている操作を、日付、操作、または管理対象システム別にソートします。

ある操作が一度実行されるようにスケジュールするか、またはそれが繰り返し実行されるようにスケジュールすることができます。操作が実行される時刻および日付を指定する必要があります。操作を繰り返し実行させたい場合、以下のオプションを選択する必要があります。

- 操作を実行する曜日 (任意)
- 操作の実行間隔または時刻 (必須)
- 繰り返しの合計回数 (必須)

管理対象システムについてスケジュール可能な操作には、以下のものがあります。

管理対象システムの電源オフ

1つの管理対象システムに一定間隔でシステム電源オフにする操作をスケジュールします。

管理対象システムの電源オン

1つの管理対象システムに一定間隔でシステム電源オンにする操作をスケジュールします。

管理対象システム上の操作をスケジュールするには、以下のステップを完了します。

1. ナビゲーション領域で、リソース・アイコン  をクリックしてから、「すべてのサーバー」を選択します。
2. コンテンツ・ペインで、1つ以上の管理対象システムを選択します。
3. メニュー・ポッドで、「アクション」 > 「すべてのアクションの表示」 > 「操作」 > 「操作のスケジュール」を選択します。
4. 「操作のスケジュール」ウィンドウから、メニューバーの「オプション」をクリックし、オプションの次のレベルを表示します。
 - スケジュール操作を追加するには、「オプション」をクリックしてから「新規」をクリックします。

- スケジュール操作を削除するには、削除する操作を選択して「オプション」を選択してから「削除」をクリックします。
 - 選択したオブジェクトについて、スケジュール操作のリストを現在のスケジュールで更新するには、「オプション」を選択してから「最新表示」をクリックします。
 - スケジュール操作を表示するには、表示する操作を選択して「表示」を選択してから「スケジュールの詳細」をクリックします。
 - スケジュール操作の時間を変更するには、変更する操作を選択して「表示」を選択してから「新しい時間範囲」をクリックします。
 - スケジュール操作をソートするには、「ソート」を選択してから表示されるソート・カテゴリのいずれかをクリックします。
5. HMC ワークスペースに戻るには、「操作」を選択してから「終了」をクリックします。

BMC システム管理の起動

ハードウェア管理コンソール (HMC) は、選択したシステムのベースボード管理コントローラー (BMC) に直接接続することができます。

BMC システム管理はサービス・プロセッサとのインターフェースで、これにより電源の自動再始動などのサーバーの動作を管理したり、エラー・ログや重要プロダクト・データなどのサーバーに関する情報を表示したりできます。

BMC に接続するには、以下のステップを実行します。

注：BMC ユーザー・インターフェースにアクセスするには、コンソールからアクセスするか、サポートされる Web ブラウザーを使用して BMC にアクセスする必要があります。



1. ナビゲーション領域で、リソース・アイコン  をクリックしてから、「すべてのサーバー」を選択します。
2. コンテンツ・ペインで、1つ以上の管理対象システムを選択します。
3. メニュー・ポッドで、「アクション」 > 「すべてのアクションの表示」 > 「操作」 > 「BMC システム管理の起動 (Launch BMC System Management)」を選択します。
4. 「続行」をクリックします。

コール・ホームの構成

BMC ベースの管理対象システム上の問題は、ハードウェア管理コンソール (HMC) にイベントとして報告されます。任意のイベントについて、自動的にアラートが通知されるようにセットアップすることができます。

注：アラートを受け取るには、HMC で SNMP トラップを有効にする必要があります。SNMP トラップを有効にするには、「コンソール設定」 > 「ネットワーク設定の変更」 > 「LAN アダプター」 > 「詳細」 > 「ファイアウォール設定」にナビゲートします。表から「SNMP トラップ」および「SNMP エージェント」を選択し、「着信の許可」をクリックします。

コール・ホームのアラートをセットアップするには、以下のステップを実行します。

注：この手順は、モデル 9006-12P、9006-22C、および 9006-22P に適用できます。

1. 「BMC システム管理 (BMC System Management)」ウィンドウから、「構成」 > 「アラート」をクリックします。
2. 表から任意のアラートを選択して、「変更」をクリックします。

注：複数の HMC をセットアップして、トラップを受け取ることができます。重複するイベントの検証は実行されないため、複数の HMC によってイベントの報告が重複する可能性があります。
3. 以下のフィールドをすべて入力します。

- イベントの重大度
- 宛先 IP

4. 「保管」をクリックします。

5. 表で新規アラートを確認します。

このタスクについて詳細な情報が必要な場合は、オンライン・ヘルプを使用してください。

再ビルド

管理対象システムから構成情報を抽出し、ハードウェア管理コンソール (HMC) 上に情報を再ビルドすることができます。

このタスクによって、実行中のサーバーの操作が中断されることはありません。

管理対象システムを再ビルドすると、その管理対象システムに関して HMC 上にある情報が更新されます。管理対象システムの再ビルドは、管理対象システムの状態が **Incomplete** (不完全) である場合に有効です。「**Incomplete**」の状態とは、管理対象システムの論理区画、プロファイル、またはリソースから、HMC が完全な情報を収集できない状態を意味します。

管理対象システムの再ビルドは、**HMC** ウィンドウを最新表示するのとは異なります。管理対象システムが再ビルドされると、HMC は管理対象システムから情報を抽出します。HMC が管理対象システムを再ビルドしている間は、他のタスクを開始できません。このプロセスには数分かかることがあります。

更新

システム情報の表示、ご使用のハードウェア管理コンソール (HMC) での更新の管理、またはシステムの作動可能確認を行うためのタスクを表示します。

ライセンス内部コードの変更

ハードウェア管理コンソール (HMC) を使用して、管理対象 BMC システムのライセンス内部コードを変更します。

システム・ファームウェアは、BMC ファームウェアと PNOR ファームウェアの組み合わせです。システムが適切に作動するためには、BMC ファームウェアと PNOR ファームウェアの両方を更新する必要があります。一方のファームウェアのみを更新し、他方のファームウェアを更新しないと、システム・エラーが発生する可能性があります。

ライセンス内部コードを変更するには、以下の手順を完了します。

1. ナビゲーション領域で、リソース・アイコン  をクリックしてから、「すべてのサーバー」を選択します。
2. システム情報を表示したいサーバーを選択します。
3. メニュー・ポッドで、「アクション」を展開し、次に、「更新」を展開します。
4. 「ライセンス内部コードの変更」>「**BMC ライセンス内部コードの変更 (BMC Change Licensed Internal Code)**」を選択します。
5. 「**BMC ライセンス内部コードの変更 (BMC Change Licensed Internal Code)**」ガイド付きウィザードで、画面に示される手順に従います。

注: ウィザードを進める前に、BMC システムを電源オフ状態にする必要があります。

6. このタスクを完了したら、「閉じる」をクリックします。

このタスクについて詳細な情報が必要な場合は、オンライン・ヘルプを使用してください。

アテンション LED

管理対象システム上でのシステム・アテンション LED 情報の表示、特定の LED の点灯によるシステム・コンポーネントの識別、およびすべての LED のテストを行います。

システムは、エンクロージャーや現場交換可能ユニット (FRU) など、システム内のさまざまなコンポーネントを識別するのに役立ついくつかの LED を備えています。この理由から、これらの LED は**識別 LED**と

呼ばれます。個々の LED は、コンポーネント上またはその近くにあります。LED は、コンポーネント自身かまたはコンポーネントのキャリア (例えば、メモリー・カード、ファン、メモリー・モジュール、またはプロセッサ) に付いています。LED は緑色またはオレンジ色です。緑色の LED は、次のいずれかの状態を示します。

- 電源が入っている
- リンク上でアクティビティーあり (システムが情報の送信または受信を行っている)

オレンジ色の LED は障害または識別状態を示します。システムまたはシステム上のいずれかのコンポーネントのオレンジ色の LED が点灯または明滅している場合は、問題を識別し、システムを正常な状態に戻すための適切な処置を行ってください。

ユーザーは、以下のタイプの識別 LED を活動化または非活動化することができます。

エンクロージャの識別 LED

特定のドロワー (エンクロージャ) にアダプターを追加する場合、ドロワーのマシン・タイプ、モデル、およびシリアル番号 (MTMS) を知っておく必要があります。新規アダプターを必要とするドロワー用の正しい MTMS を持っているかどうかを調べるには、ドロワーの LED を活動化して、MTMS が新規アダプターを必要とするドロワーに対応しているかどうかを確認することができます。

システム・アテンション LED を非活動化することができます。例えば、問題が優先度の高いものでないと判別し、その問題を後で修復する場合があります。ただし、別の問題が発生した場合はアラートを受け取りたいので、システム・アテンション LED を非活動化して、別の問題が発生したときに再度活動化できるようにする必要があります。

接続

サービス・プロセッサへのハードウェア管理コンソール (HMC) 接続状況の表示、これらの接続のリセット、選択した管理対象システムへの他の HMC の接続、または別の HMC の切断を行うことができます。

作業域で管理対象システムを選択した場合、以下のタスクがその管理対象システムに関連付けられます。

サービス・プロセッサの状況

管理対象システム上のサービス・プロセッサへのハードウェア管理コンソール (HMC) 接続の状況に関する情報を表示します。

このタスクについて

管理対象システムで、サービス・プロセッサへのサービス・プロセッサ接続状況を表示するには、以下の手順を完了します。

手順

1. ナビゲーション領域で、リソース・アイコン  をクリックしてから、「すべてのサーバー」を選択します。
2. サービス・プロセッサ接続状況を表示するサーバーを選択する。
3. メニュー・ポッドで、「アクション」 > 「すべてのアクションの表示」 > 「接続」 > 「サービス・プロセッサの状況」を選択します。

接続のリセットまたは除去

ハードウェア管理コンソール (HMC) インターフェースから、管理対象システムのリセットまたは除去を行います。

このタスクについて

接続をリセットまたは除去するには、次の手順を完了します。

手順

1. ナビゲーション領域で、リソース・アイコン  をクリックしてから、「すべてのサーバー」を選択します。
2. リセットまたは除去を行うサーバーを選択する。
3. メニュー・ポッドで、「アクション」 > 「すべてのアクションの表示」 > 「接続」 > 「接続のリセットまたは除去」を選択します。
4. 「接続のリセット」または「接続の除去」を選択します。
5. 「了解」をクリックします。

特記事項

本書は米国が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス 渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任は適用されないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119

Armonk, NY 10504-1785

US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関す

る実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述は、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。サンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年).

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. _年を入れる_.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

IBM Power Systems サーバーのアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーが情報技術コンテンツを快適に使用できるようにサポートします。

概説

IBM Power Systems サーバーには、次の主なアクセシビリティ機能が組み込まれています。

- キーボードのみによる操作
- スクリーン・リーダーを使用する操作

IBM Power Systems サーバーでは、最新の W3C 標準 [WAI-ARIA 1.0 \(www.w3.org/TR/wai-aria/\)](http://www.w3.org/TR/wai-aria/) が [US Section 508 \(www.access-board.gov/guidelines-and-standards/communications-and-it/about-the-section-508-standards/section-508-standards\)](http://www.access-board.gov/guidelines-and-standards/communications-and-it/about-the-section-508-standards/section-508-standards) および [Web Content Accessibility Guidelines \(WCAG\) 2.0 \(www.w3.org/TR/WCAG20/\)](http://www.w3.org/TR/WCAG20/) に準拠するように使用されています。アクセシビリティ機能を利用するためには、最新リリースのスクリーン・リーダーに加えて、IBM Power Systems サーバーでサポートされている最新の Web ブラウザーを使用してください。

IBM Knowledge Center に用意されている IBM Power Systems サーバーのオンライン製品資料は、アクセシビリティに対応しています。IBM Knowledge Center のアクセシビリティ機能は、[IBM Knowledge Center のヘルプの『アクセシビリティ』セクション \(www.ibm.com/support/knowledgecenter/help#accessibility\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/help#accessibility) で説明されています。

キーボード・ナビゲーション

この製品では、標準ナビゲーション・キーが使用されています。

インターフェース情報

IBM Power Systems サーバーのユーザー・インターフェースには、1 秒当たり 2 回から 55 回明滅するコンテンツはありません。

IBM Power Systems サーバーの Web ユーザー・インターフェースは、コンテンツの適切なレンダリング、および使用可能なエクスペリエンスの提供を、カスケード・スタイル・シートに依存しています。アプリケーションは、視覚障害者が、ハイコントラスト・モードを含め、システム表示形式の設定を使用するために同等の仕組みを提供します。フォント・サイズの制御は、デバイスまたは Web ブラウザーの設定を使用して行うことができます。

IBM Power Systems サーバーの Web ユーザー・インターフェースには、アプリケーションの機能領域に迅速にナビゲートできる WAI-ARIA ナビゲーション・ランドマークが組み込まれています。

ベンダー・ソフトウェア

IBM Power Systems サーバーには、IBM の使用許諾契約書の適用外である特定のベンダー・ソフトウェアが組み込まれています。IBM では、それら製品のアクセシビリティ機能については、何ら保証責任を負いません。ベンダーの製品に関するアクセシビリティ情報については、該当のベンダーにお問い合わせください。

関連したアクセシビリティ情報

標準の IBM ヘルプ・デスクおよびサポートの各 Web サイトに加え、IBM では、聴覚障害を持つユーザーまたは聴覚機能が低下しているユーザーが販売サービスやサポート・サービスにアクセスするのに使用できる TTY 電話サービスを用意しています。

TTY サービス
800-IBM-3383 (800-426-3383)
(北アメリカ内)

アクセシビリティに対する IBM の取り組みについて詳しくは、[IBM アクセシビリティ \(www.ibm.com/able\)](http://www.ibm.com/able) を参照してください。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie をはじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名と IP アドレスを、セッション Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『[IBM プライバシー・ステートメント](https://www.ibm.com/jp-ja/privacy)』（<https://www.ibm.com/jp-ja/privacy>））、およびセクション『クッキー、ウェブ・ビーコン、

その他のテクノロジー』の『[IBM オンライン・プライバシー・ステートメント](https://www.ibm.com/jp-ja/privacy/details)』 (<https://www.ibm.com/jp-ja/privacy/details>) を参照してください。

プログラミング・インターフェース情報

この「ハードウェア管理コンソールの管理」資料には、プログラムを作成するユーザーが IBM ハードウェア管理コンソールのバージョン 9 リリース 2 保守レベル 950 のサービスを取得するためのプログラミング・インターフェースについて記載されています。

商標

IBM®、IBM ロゴおよび [ibm.com](https://www.ibm.com)® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、Web 上で「[Copyright and trademark information](#)」をご覧ください。

登録商標 Linux® は、世界中で商標の所有者である Linux Torvalds の独占的ライセンスである Linux Foundation のサブライセンスに従って使用されています。

Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用可能性: これらの条件は、IBM Web サイトのすべてのご利用条件に追加されるものです。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾を得ずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾を得ずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示したりすることはできません。

権利: ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

